

さいかくじ
西覚寺

真宗興正派青松山正朱院西覚寺



元は西山東麓にあり、天台宗で西覚坊と呼ばれ、大永年間（室町時代）には沙門宗円が住んでいました。天文10年（1541年）5月現在の地に移り、宗派も真宗に改めました。

その後、寛文6年寺号を認可され西覚寺となりました。

本尊は阿弥陀如来です。文久元年（1861年）正月に本堂・庫裡などを全焼しましたが、同年8月、陶から庫裡を購入して仮本堂とし、慶応3年（1867年）本堂が再建されました。再建のとき、松平旧藩主より梁などの上具材の寄贈を受けたとのこと。

鐘堂は明治40年に再建され、山門は昭和7年に建てられました。

庫裡・・・くり 寺院の僧侶の居住する場所